

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エイ・ビー・アクトシ(株)	代表者	柳下 早苗	法人・事業所の特徴	緑や川に面した立地で、自然に囲まれた豊かな時間を過ごすことができる。住み慣れた大磯町で生活環境を大きく変えることなく、ご自分らしい生活を続けることができる。
事業所名	りんどうケアヴィレッジ	管理者	北村 里香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	0	3	0	0	1	0	4	0	9

項目	令和4年度の改善計画	令和4年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和5年度にむけた改善計画
A 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の状況は定まらないが、感染症対策と自己評価の改善計画の取り組みが両立できるように、毎月の事業所内のミーティングで検討していく。</li> <li>・小規模多機能型居宅介護の機能を最大限活かせるように、事業所内での学びの機会を持ち、地域資源の活用と柔軟なサービス提供を目標とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の細やかな変化を察知し、日々のミーティングにてスタッフ間で共有し、必要なサービス提供に反映していく取り組みを継続した。</li> <li>・感染症対策を継続し、新型コロナウイルス及び感染症の蔓延防止を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況に寄り添った介護ができるように努力していると思います。自分のできることを実際にやることにより意欲につなげていると思います。</li> <li>・介護の現場で正解が不透明な中、充分と感じられず悩みながら努力している姿が目に入ります。常にミーティングなどスタッフが連携をとりながら、話し合い個性豊かな利用者の介護をして頂き、本当に頭が下がります。</li> <li>・「私のアルバム」はご利用者様を知るよい取り組みだと思います。おそらく、その人の人生で感じていることが詰まっているものです。自己評価の状況を見ると、8人中5人があまりできていないとなっており、少しもったいないと思います。このアルバムを知ることで、ご利用者のご家族との交流にも役立てると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のミーティングにて、利用者の細やかな変化をスタッフ間で共有し、サービス提供に反映していく取り組みを継続する。</li> <li>・引き続き感染症対策に取り組みながら、小規模多機能型居宅介護の特色を最大限活かせるように、事業所内での学びの機会を持ち、地域資源の活用と柔軟なサービス提供を目標とする。</li> </ul>

項目	令和4年度の改善計画	令和4年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和5年度にむけた改善計画
B事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植え込みの整備や居心地の良い環境整備の取り組みを続け、入口に看板を設置して催し物などの案内をし、家族や地域の方が入りやすい事業所をめざす。</li> <li>・ 消毒や手洗い、換気などの衛生管理の徹底を続け、感染症の予防とまん延防止を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植え込みの手入れはボランティアの方の力をお借りして継続することができ、「大磯オープンガーデン」にも参加することができた。地域の方に親しみやすい施設を目指した。</li> <li>・ 催しの看板の設置や感染症対策を行った上で、地域に開かれた施設であるよう努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植え込みの管理が良くできている。</li> <li>・ 植え込みは季節感が感じられ、よく整備されています。室内も手作りの展示物があり、親しみを感じます。</li> <li>・ 感染症のまん延防止はされていると感じました。</li> <li>・ りんどうケアタウンはまだまだ地域で認識できていない方が多いと思いますが、入口付近にのぼり旗や手書きの看板等、事業所へ入りやすい工夫が見られ、地域と積極的に関わろうとしている努力が見られます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域交流スペース「なかまーる」及び事業所に地域の方が立ち寄りやすいように、親しみの感じられる環境整備や挨拶を続ける。</li> <li>・ 利用者が安心して過ごせるように、季節感や温かみを感じられる展示物を利用者と共に作成する。</li> <li>・ 引き続き、消毒や手洗い、換気などの衛生管理を徹底し、感染症の予防とまん延防止を図る。</li> </ul>
C事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域交流スペースで「認知症カフェ」や小人数での家族会、介護の勉強会等の催しを行い、地域に認識される開かれた事業所をめざす。</li> <li>・ 「大磯オープンガーデン」に参加し、町内ガーデンの見学、地域の防災訓練に参加するなど、地域交流の機会を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「認知症カフェ」や介護の勉強会の開催を町や町内会でもお知らせいただき、少しずつではあるが「りんどうケアタウン大磯」から情報発信ができた。</li> <li>・ 中丸地区の行事や防災訓練に参加させていただき、地域交流の機会が持てた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域交流は努力されていると感じました。</li> <li>・ 介護の勉強会に地域の方々と参加することができ、町の介護保険制度を深めることができました。具体的な車いすの使い方では、介護する側される側の体験ができました。</li> <li>・ コロナ禍で多くの事が中止になる中、やれる範囲の努力をされていたと思います。5年度は5/8より「5類」になる事でかなり変化するとは思いますが感染症に注意しながら、認知症カフェに期待しています。</li> <li>・ 「認知症カフェ」等開催しており、地域のために貢献しようという気持ちが表われています。このような事業所があると、介護者が気持ちが軽くなったり、介護スキルも身につけられるため、安心して暮らせるようになります。</li> <li>・ 中丸地区の防災訓練や行事にも参加して頂いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的に認知症カフェや介護の勉強会を開催してりんどうケアタウン大磯から情報発信を行い、地域に認識される親しみやすい事業所を目指す。</li> <li>・ 地域包括支援センターや民生委員、地域の方々と協働して、催しや行事の開催ができるよう取り組む。</li> <li>・ 地域の行事に利用者と共に参加させていただき、地域交流の機会を増やす。</li> </ul>

項目	令和4年度の改善計画	令和4年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和5年度にむけた改善計画
D 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や家族から話を聞いて「私のアルバム」の作成を続け、地域との関わりに活用できるように取り組む。</li> <li>・利用者や家族が住み慣れた地域との関わりを継続できるように、コロナ禍に適した関わり、地域資源の活用を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつお祭りや行事等の地域のイベントが再開され、参加することができた。</li> <li>・近隣の散歩や季節の風景を楽しむドライブ等の活動を継続した。</li> <li>・「私のアルバム」を活用し、スタッフが利用者の理解を深めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りなどの地域のイベントに参加する機会が増え、利用者が地域で楽しむ姿が見られました。</li> <li>・「私のアルバム」は良い試みだと思います。地域との関わりについては難問ですね。本人の友人知人も共に高齢化しており、利用者を支える家族との考え方も違うでしょうから立ち入りすぎても…とも考えますが、独居や老々介護の方には、重要な問題かもしれません。</li> <li>・コロナ禍での努力は充分感じられます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の散歩やドライブ等の活動を続け、地域のお祭りや行事に参加させていただき、利用者が地域に親しむ機会を増やす。</li> <li>・「私のアルバム」の取り組みを続けて、利用者の理解を深め、家族会等を通して家族との交流を持ち、利用者と地域との関わりに生かしていく。</li> </ul>
E 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢化に伴う情報交換の場として、事業所と地域が協働してできることを検討していく。</li> <li>・介護や地域の心配事など、会議での話し合いのテーマを決めて、検討事項や意見を活かせるよう取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中丸地区長や民生委員の方々のおかげで、地域の情報をお寄せいただき、地域の行事やお祭りに利用者と参加させていただいた。</li> <li>・少しずつではあるが、地域の心配事などの検討や、りんどうケアタウン大磯の地域交流スペースを活用していただく相談などができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は運営推進会議の年間計画の一覧表が示され、災害対策やケアタウンでの催しなどが入っていて分かりやすかった。地域の中での心配事なども気軽に相談でき解決のためのヒントをいただくことができました。</li> <li>・事業所の取り組みや現状を、とてもわかりやすく説明して頂き、地域の方の心配事も相談できて、とても有意義な時間を提供して頂いています。今後も、お力添えをお願いします。</li> <li>・努力されており、説明ありがたく聞いております。</li> <li>・地域での取り組みは積極的に参加できていると思います。もし、時間がありましたら地域の心配の方等の事例検討もして下さい。</li> <li>・1時間という限られた時間ですが、スタッフの方々のリアルな報告で問題点が分かりやすいです。令和4年度は地域の町内会との相互理解が少し進んだと感じています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議にて、地域の課題（介護や福祉、防災等）の情報交換を行い、事業所と地域の方々が協働してできることを検討する。また、意見を活かした取り組みをしていく。</li> <li>・地域の方々の意見を反映して、ケアタウン大磯からの情報発信や、地域交流スペース「なかまーる」の活用等の検討を行っていく。</li> </ul>

項目	令和4年度の改善計画	令和4年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和5年度にむけた改善計画
F 事業所の 防災・ 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年に策定した避難確保計画の適宜見直しを行い、スタッフへの周知と訓練を定期的に行う。</li> <li>・地域の方に防災訓練に参加していただけるよう連携に努め、災害時にどのように行動できるかを地域の方と話し合う機会を設ける。</li> <li>・地域の防災訓練に参加し、災害時に地域との連携が図れるように事業所の役割を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練にも参加させていただき、地域の防災について考えるきっかけとなった。</li> <li>・災害別の対応を検討し、定期的に訓練を行った。</li> <li>・ケアタウン大磯の利用者、入居者の合同避難訓練を行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に努力されていると感じます。</li> <li>・年間計画や事業所の避難訓練の活動録や写真により対策を知ることができました。</li> <li>・今回のコロナ禍も、災害の一つだと思っています。4年度に中止した防災相談会も、次年度には、感染症対策も含め開催したいと思っています。その他、勉強会として要支援者、災害弱者の支援なども考えていきたいと思っていますので協力をお願いします。</li> <li>・日頃から訓練等もしており、防災意識は高く持っているという印象です。</li> <li>・引き続き連携をとっていきましょう。特に夜間に被災した時、中丸町内会として支援できるか検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアタウン大磯の防災訓練を定期的実施し、スタッフ一人一人が災害別に対応ができるよう訓練を重ねる。</li> <li>・地域の方々に防災訓練に参加していただけるよう連携に努め、災害時において地域の中でどのように行動ができるか検討していく。</li> <li>・地域の防災訓練に参加させていただき、災害時に地域との連携が図れるように事業所の役割を検討する。</li> </ul>